



花桃

税務と経営

編集 発行人
税 理 士

三 木 泰

事務所 〒597-0071
貝塚市加神1-11-17
TEL 072(431)1644

4月

(卯月) APRIL

29日・昭和の日

日	月	火	水	木	金	土
.	.	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	.	.	.

ワンポイント 会計年度と暦年、事務年度

4月から新しい年度に入ります。4月～3月の1年間は予算収支の期間として会計年度と呼ばれるのに対し、1～12月は暦年と呼ばれ、所得税の税率などは1月から見直されます。なお、国税の事務運営に関しては、定期異動が7月に行われる関係からか、会計年度とは別に事務年度(7月～6月)も採用されています。

4月の税務と労務

- 国 税 / 3月分源泉所得税の納付 4月10日
- 国 税 / 2月決算法人の確定申告(法人税・消費税等) 4月30日
- 国 税 / 8月決算法人の中間申告 4月30日
- 国 税 / 5月、8月、11月決算法人の消費税の中間申告(年3回の場合) 4月30日
- 地方税 / 給与支払報告に係る給与所得者異動届の提出 4月15日
- 地方税 / 固定資産税(都市計画税)の第1期分の納付
4月中において市町村の条例で定める日
- 地方税 / 土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧
4月1日～4月20日
または最初の納期限のいずれが早い日以後の日まで
- 地方税 / 軽自動車税の納付
4月中において市町村の条例で定める日
- 労 務 / 労働者死傷病報告(1月～3月分) 4月30日



目標にたどり着くまで ずっと汗を流し続けられる マネジメント

■ マネジメントを
リーダーシップから
切り離すのは危険

昨今では、もっぱら「リーダーシップ」に関心が向けられ、「マネジメント」は脇に追いやられてしまっている感じがします。優れたマネージャーを目指す人などおらず、だれもが偉大なリーダーに憧れます。

マネジメントをリーダーシップから切り離すのは危険です。リーダーシップなきマネジメントは組織から活気を奪い、マネジメントなきリーダーシップは、単に自信過剰を招くだけです。自信過剰は組織を破滅させかねません。

このことは、日本ではあまり知られていませんが、理論に縛られない理論家、あまのじゃくな理論家ともいわれ、ピーター・ドラッカーと比肩する経営学者ヘンリー・ミンツバーグが論文に掲載し、指摘をしていることです。

ミンツバーグらは、1990年代半ばに、第一線のマネージャーを対象にした新しいマスターコース（国際経営者修士プログラム）を設けました。従来のMBA教育は、マネジメントの世界をマーケティング、財務、会計といった職能別に縦割りしていますが、そ

れでは役に立たないと考えました。縦割りではなく、すべての職能分野を統合した、新しいコースを設ける必要があったといえます。

■ 5つの マネジメント・マインド

こうしてたどり着いたのは、下記の5つのマネジメント・マインドを基本としたコースで、これは教室だけでなく実務の現場でも高い成果を上げています。

- 1 内省
自己のマネジメント
- 2 分析
組織のマネジメント
- 3 広い視野
外部環境のマネジメント
- 4 コラボレーション
リレーションシップのマネジメント
- 5 行動
変革のマネジメント

マネージャーに求められる5つのマインドセットは、新たな展望を見出そうという姿勢、または物の見方です。

内省しない限り、新しい発想は得られません。世の中を知らなければ、そもそも新しい発想に心を開くことはないわけです。もちろん、世の中の流行、展望、チャンスなど

に自分から積極的に関わっていかない限り、それらの価値を十分に理解できるものではありません。

組織が何かを成し遂げたとしても、リーダーはほとんどそれに手を貸しておらず、目標達成に向けて組織を動かしてもいないことが多いのです。リーダーの役割は本来メンバー全員を助けながら、仕事を進めるための組織的な枠組みや条件、取り組み姿勢などを決めることです。そのためには、協同精神が欠かせません。

■ 「マネージャー」の イメージの発想の誤り

今日では、ネットワーク、チーム、タスク・フォース、アライアンス、ナレッジ・ワークなどがしきりに話題に上りますが、多くの人はいまだにマネージャーとは「上」に位置するものというイメージを抱いたままです。自分自身が人的ネットワークの頂点において、下を見下ろしている姿を描いてみれば、発想の誤りに気づくと思います。

人と人との間に身を置き、目標にたどり着くまでずっと汗を流し続けられるマネジメントが必要なのです。

新会社法施行で 株主総会の手続きが 簡単になりました。



3月決算法人の方は、決算書類の作成、法人税の確定申告、株主総会の準備等で何かと気ぜわしい毎日が続いているかと思われます。新会社法の施行により、株主総会においてもその開催手続きや中身が見直されています。

1 開催場所

まず、開催場所ですが、旧商法では、定款で特に定めている場合を除いて、本店の所在地（東京都では区、その他では市町村）又はこれに隣接する地でなければなりませんでした。

新会社法では、どこでも開催することが可能となりました。

たので、会場の手配に一工夫をすることが出来ます。

2 監査役への提出時期と株主総会開催時期

さて、旧商法では、総会の開催時期について計算書類の監査役への提出時期との関係で厳しい規制がありました。監査役に監査をするのに十分な期間を与えるため、計算書類の監査役への提出は、大会社では株主総会の8週間前に、中会社で7週間前、小会社で5週間前に行われなければならぬとされていました。そのため、監査役の見聞報告が早めに終わっても、先の期間が経過した後でなければ株主総会を開催することが

できない不都合がありました。

税務上、法人税の申告期限は、事業年度終了日から2ヶ月以内とされ、税務署長の承認を得た場合に限り3ヶ月以内でよいとされています。この関係から法人税の申告は、上記の税務署長の承認を受けていないことが多い中小企業では、2ヶ月以内に申告をしなければなりません。旧商法の計算書類の監査役への提出期限の関係から、実際は、株主総会を「2ヶ月以内に開催したことにしよう」とした法人が相当数ありました。

新会社法では、この監査役への計算書類の提出時期に関する規制がなくなり、これによって会社の規模、状況等によって柔軟な対応が可能となりましたので、株主総会はきちんと開催しておかねばなりません。

3 株主総会の招集方法

株主総会を招集するときには、旧商法では、開催日より2週間前に各株主に招集の通知を書面またはメールで行わなければならない、たとえ定款で定めても1週間前までしか短縮をすることができませんでした。

新会社法では、非公開会社で取締役会を設置していない会社の場合、定款で1週間よりも短い期間を定めればさらに短縮することもできます。

通知方法も書面に限らず、口頭や電話でも可能です。さらに株主全員の同意があるときは招集手続きを省略することも可能です。

用途広がる「書道」の世界

書道がここ数年ブームのようです。もともと書道は習い事の定番として、中年やシニア世代に人気がありました。最近のブームの傾向としては若手の書道家の台頭があります。

その代表が武田双雲、双龍兄弟や矢部澄翔、紫舟などの女流作家です。ただ若いだけでなく、音楽家や歌舞伎役者、写真家などと一緒にコンサートやパフォーマンスを展開するなど、自在な活動と表現で新境地を開いているようです。作風も自在で、たとえば若手女流書家の國重友美はアルファベットと漢字を組み合わせたその名も「英漢字(ええかんじ)」という独特の世界を広げています。

こうした影響もあり、書家の方々の仕事も広がっているようです。書道教室のほかに、食品店舗の看板やメニュー、日本酒や焼酎、お茶や飲料水のラベル、あるいは年賀状ソフトのサンプル書体、映画タイトル、ホームページタイトルにゲームソフトのタイトルなど、

市場は確実に増えているようです。

パソコンの普及などで書道人口は年々減ってきているといわれますが、一方でデジタルな世界に染まった人が、改めて書のよさを知ることにも増えているようで、そのあたりが書の市場を広げているのかもしれませんが。とくに人気があるのが、店舗などの看板。書の看板は和食では定番ですが、個性的で味わいのある書は、集客効果も抜群で、店の売り上げを大きく左右するといわれています。こうした客寄せのための看板は、ここに来ての書道ブームのおかげで書道教室の先生にも依頼が舞い込むようになってきています。

一方、広告業界では一般の書道とは別に「デザイン書道」という分野が確立しています。こうした専門家も近年の書道ブームで活況を呈しているようです。

伝統的な書家の中には最近の傾向に眉をひそめる向きもあるようですが、事業の差別化を図りたい人や、個性を強調したい店づくりにこういった書のニーズはまだまだ拡がりそうです。

「たまご」を見直そう

主役でも脇役でも、時には裏方としても大活躍の食材のスターと言え、「たまご」。日本人は一人年間三〇〇個以上食べるというデータもあります。

栄養面では、豊富なたんぱく質の中に、人間の体内では作り出すことができない必須アミノ酸が含まれています。一時、たまごコレステロールの関係が取り沙汰されましたが、その後の研究で、た

まごに含まれるレシチンに悪玉コレステロールを溶かすという働きがあることが判明、毎日食べても問題ないそうです。

たまごといえば、アメリカで盛大に行われるイースター(復活祭)があります。たまごに色とりどりの絵を描いて飾ったり、家族でゆでたまごを食べたりします。あのホワイトハウスも丘の上からたまごを転がす「エッグロール」をして祝うそうです。

注目のバイオ燃料市場

バイオ燃料(バイオエタノール)ビジネスに、大手企業が続々と参入を発表しています。主にトウモロコシやサトウキビ、食用油などを発酵させて作られるバイオ燃料は、光合成時にCO²を吸収する植物が原料であることから、理論上、燃焼してもCO²排出量は減少、またはプラマイゼロであると見込まれています。日本ではバイオエタノールの製造および実証試験に関係省庁、各地方自治体と多業種の企業が共同で当たっており、07年よりバイオエタノールを3%含んだガソリン「E3」の試験販売が、一部のガソリンスタンドで開始されました。

そこで問題となっているのが、原材料価格の高騰による食料品などの値上がりです。バイオ燃料の原料となるトウモロコシや菜種への転作で大豆や小麦の供給が減り、国際相場の価格が高騰。食糧自給率が低く、小麦の8割強を輸入に頼っている日本は大きな打撃を被っています。地球にやさしいバイオ燃料。課題克服と、早い実用化が期待されています。